

# 訪問看護ステーションあい

那須烏山市神長 422-1



代表取締役  
横山 孝子 様  
利用保険割合  
医療保険…3割  
介護保険…7割

訪問看護と訪問リハビリと有償ボランティア「キャンパス烏山」を上手く組み合わせて支援している様子は、在宅療養されている方への切れ目のない支援につながっていると感じました。様々な困りごとに対応してくれる看護師が身近にいると思うと、安心して療養できますね。(記者より)

## 施設のアピール

訪問看護ステーションあい(株) 悠愛が運営する24時間対応のステーションです。平成24(2012)年に烏山地区で最初に訪問看護を開設し、令和元(2019)年には看護小規模多機能型居宅介護\*まるごとケアの家あいさん家をスタートさせました。その他、有償ボランティアナースとして「キャンパス烏山」の活動も行い、公的制度では対応できないような困りごとについても対応しています。

\*看護小規模多機能型居宅介護とは、「訪問看護」と「小規模多機能型居宅介護」を組み合わせたサービスで、「通い」「泊り」「訪問介護」、「訪問看護」サービスを提供する事業所です。



令和元年に新しくなった事業所は、清潔感があり、様々なところに利用者さんのための工夫が行き届いていました。

## 連携している主な医療機関

自治医科大学附属病院、獨協医科大学病院、那須赤十字病院、芳賀赤十字病院、国際医療福祉大学病院、国際医療福祉大学塩谷病院、那須南病院、高野病院、水沼医院、阿久津クリニック、佐藤医院、飯塚医院など那須烏山市近郊を中心に県北・県東・県東地区と広範囲にわたる医療機関と連携を図っています。

## 施設の役割や特徴について

### ～専門性を活かした

在籍している看護師は、医療処置などの経験も豊富で、人工呼吸器の管理や看取り、精神、小児など幅広く対応しています。また令和2(2020)年から理学療法士2名、作業療法士1名が加わり、訪問リハビリの依頼も多くなりました。中には、最初は、要介護5だった利用者さんが要介護1になるという劇的な改善がみられたケースもあり、訪問リハビリの効果に驚いています。

## 心に残った患者さんとのエピソード

### ～支援体制を整えるところから～

地域で暮らす方の中には、何らかの疾患が疑われつつも、診断が難しく支援につながらない方もいます。

その患者さんは50代で糖尿病と視力障害があり、生活の様子から何らかの精神疾患も疑われる状態でした。これまで医療機関を点々とし、かかりつけ医が定まっていませんでした。別居の姉が世話をしてくれていましたが、本人の病状悪化から姉に対しての攻撃性が強くなり、困り果てた姉から支援依頼がありました。

自宅に行く、薬がたくさん残っていて、指示通りに内服していないことがわかりました。本人の様子から早急に受診が必要と判断し、精神科医療機関を受診する段取りを整え、また糖尿病を診察してくれる医師も探しました。それと並行して介護保険を申請し、デイサービスも利用できるよう調整しました。受診のときはキャンパス烏山として看護師が診察時に行き、現在の症状など医師に伝えました。また診察の結果を家族に説明し、家族も安心できていました。

現在、その患者さんは施設に入所されましたが、入所までの5年間、一から支援体制を構築した事例として、印象に残っています。

## ケアマネジャーとの連携で思いごと

訪問看護はもちろん、ケアマネジャーとしても活動しているので連携の重要性はいつも感じています。両方の立場がわかるからこそ、相互理解のための丁寧なコミュニケーションを心がけ、支援者同士の信頼関係を大切にしています。

最近、医療的な相談はもちろん、訪問リハビリのスタッフがいることがきっかけとなり、在宅療養の相談を受けることも多くなって来ました。訪問看護は予防的な視点で関わることも大切な役割ですので、早い段階で相談していただけるとうり難いと思っています。



代表取締役の横山さんからは熱意あふれるお話を伺いました。



「あいさん家」という近所のお宅に遊びに行くように、気軽に足を運びたい雰囲気です。